

## 第 2 回丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会ワーキングでの意見とその対応

項目	No	発言者	意見の概要	県の回答など	推進計画への反映	
減災対策 フェニックス 防災システム	①	市島地区 井上委員	資料 3 P49 の雨量の棒グラフは上下逆ではないか。	この表記となっている。 (丹波土木 黒田主幹)	—	
				防災機関に対してフェニックス防災システムを通じて配信しているものであり、一般に公表しているものではない。 (丹波土木 松井課長)		回答済
		市島地区 井上委員	職に就いている方が見て判断するものであれば、一般の方が閲覧できないとの記載があった方がいい。	表記を追加する。(丹波土木 黒田主幹)	修文	P. 50 「6-3-3 氾濫予測情報」に一般に公表されていないことを追記
モデル地区 (減災対策)	②	西紀北地区 山崎委員	気象情報、避難情報等を住民に直接配信と記載があるが、どのような手段を考えているのか。	「ひょうご防災ネット」で既に見られるようになっている。(丹波土木 黒田主幹)	—	
				パソコンだけでなく、携帯でも登録すればメールで情報が届き、確認できる。 (総務企画室 中村主幹)		回答済
	③	西紀北地区 山崎委員	パソコンも携帯も持っていない方、あってもインターネットを見られない方もいるが、どのように取り組んでいくのか。	防災マップ作りを通じて、推進していきたいと考えている。防災無線も活用の上、発信していきたい。(篠山市 山本課長)	修文	P. 75 「8-2-1 (2) 減災対策の進め方」に篠山市の取り組みを追記
	④	西紀北地区 山崎委員	地区に無線の防災システムがあるが、現在は行事の案内放送等に使用されている。これも活用してはどうか。	「ひょうご防災ネット」やインターネットの利用等、どの程度の方が使えるか調査の上、検討していきたい。(篠山市 山本課長)		
減災対策モデル地区 範囲について	⑤	篠山市 近成課長	資料 3 P72 篠山市の減災対策モデル地区として、岬ヶ鼻川周辺にも集落があるため、追加してもらいたい。	—	修文	P. 76 岬ヶ鼻川周辺の集落を減災対策モデル地区として追記

第2回丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会ワーキングでの意見とその対応

項目		No	発言者	意見の概要	県の回答など	推進計画への反映	
モデル地区(流域対策)	公共施設の分布	⑥	市島地区 井上委員	市島地区での流域対策を検討するにあたり、公共施設は東側に位置するため、西側での施策も考える必要がある。	今後、検討していきたい。(丹波土木 黒田主幹)	—	
	地域施設の活用について	⑦	丹波土木 黒田主幹	地元の施設で協力をお願いできるところはないか。	公民館等に貯留タンクを設置するなど、協力は得られるかもしれないが、費用負担やスペースの問題がある。(市島地区代表 井上委員)	—	
	水田貯留	⑧	市島地区 井上委員	雨水を水田に貯めるのは、現状でも川から逆流し冠水している状況であり、理解を得るのが難しいと考えられる。(市島地区代表 井上委員)	協力を得られるよう啓発していきたい。(丹波土木 黒田主幹)	反映済 P. 31「5-2-3 水田」に水田貯留は理解と協力を得た上で推進することを記載済。	
	森林の活用について	⑨	西紀北地区 山崎委員	森林に水をためる取り組みも、モデル地区としてつくった方がいいのではないか。腐葉土が薄くためにくい針葉樹の整備は行われているが、腐葉土が厚くためやすい広葉樹林は傷んでいる。治水効果を数値化できれば、今後の活用につながると思われる。	現時点では、モデル地区周辺で森林事業を行っていない。また、治水効果の把握は難しい。針葉樹の整備は行われているが、広葉樹の整備はあまり進んでいないのが現状である。モデル地区として設定する場合には、地権者、地域の方の理解を得ることが重要で、市と相談の上、進めることになると思われる。(丹波農林 小舟副所長)	回答済	—
		⑩	西紀北地区 山崎委員	間伐を行うだけでも、治水効果は上がると考えられる。	現在ある事業を活用していただきたい。また、篠山市でも検討を進められており、連携して考えていきたい。(丹波農林 小舟副所長)	回答済	—
河川下水道対策	竹田川での堆積について	⑪	春日地区 尾松委員	台風18号で野上野橋上流左岸側に土砂が堆積している。堆積しやすい状況を改善するため、改修や井堰の統合などについて総合的に進めていってほしい。	野上野橋の直下流で大きな落差がついており、その上流あたりは勾配が緩く堆積しやすい。現在のところ、改修については河川整備計画では位置付けられていないが、今後検討していきたい。(丹波土木 松井課長)	反映済 P. 16「3-1 河川・下水道対策」及びP. 19「4-1-1 河道対策」に適切な維持管理を行うことを記載済	